

## 平成29年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月13日

上場会社名 日本エンタープライズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4829 URL http://www.nihon-e.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植田勝典  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 田中勝 TEL 03-5774-5730  
 四半期報告書提出予定日 平成29年1月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有<アナリスト・機関投資家向け>

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年5月期第2四半期の連結業績(平成28年6月1日～平成28年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第2四半期	2,494	△2.1	166	279.7	185	250.1	70	2.0
28年5月期第2四半期	2,547	1.3	43	△29.8	52	△24.9	69	△56.3

(注) 包括利益 29年5月期第2四半期 59百万円(ー%) 28年5月期第2四半期 △15百万円(ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第2四半期	1.75	1.75
28年5月期第2四半期	1.72	1.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年5月期第2四半期	6,146	5,189	80.4	121.86
28年5月期	6,017	5,217	83.5	123.96

(参考) 自己資本 29年5月期第2四半期 4,942百万円 28年5月期 5,027百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	—	0.00	—	3.00	3.00
29年5月期	—	0.00			
29年5月期(予想)			—	3.00	3.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年5月期の連結業績予想(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,300	△4.2	330	50.2	350	38.6	135	△58.7	3.33

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）  
 詳細は、添付資料P. 4「サマリー情報（注記事項）」に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |    |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：有 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | ：無 |
| ④ 修正再表示              | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年5月期2Q	40,563,200株	28年5月期	40,557,700株
② 期末自己株式数	29年5月期2Q	－株	28年5月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年5月期2Q	40,559,320株	28年5月期2Q	40,534,851株

## ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、財務諸表に対する監査手続が実施中であります。

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

## 1. 業績予想について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）2ページ以降の「経営成績に関する説明」をご覧ください。

## 2. 決算説明会について

当社は、平成29年1月16日（月）に決算説明会（アナリスト・機関投資家向け）を開催する予定です。また、当日使用する決算説明会資料は、同日当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるモバイルコンテンツを取り巻く環境は、iPhoneやAndroid端末等のスマートフォンの普及が一般化し、世帯あたりの普及率が67.4%（平成28年3月、注1）まで成長しております。また、モバイルコンテンツ市場は1兆5,632億円、モバイルコマース市場は2兆8,596億円（平成27年、注2）まで成長している状況にあり、今後も同環境は大きく発展していくことが予想されます。

これらの状況において、当社グループといたしましては、高機能で付加価値の高いサービスの開発・提供及び新しい事業モデルの構築を推進し、より安定した企業基盤の確立と事業拡大に向けた一層の企業努力を重ねてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は24億94百万円（前年同四半期比2.1%減）、営業利益は1億66百万円（同279.7%増）、経常利益は1億85百万円（同250.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は70百万円（同2.0%増）となりました。

（注1）内閣府 発表

（注2）一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム 発表

各セグメントの業績は、次のとおりです。

## &lt;コンテンツサービス事業&gt;

コンテンツサービス事業におきましては、キャリア（移動体通信事業者）向けサービスについては、月額有料会員サービス及び定額制サービスともに広告効果が低下する中、「ATIS交通情報」や「ちょこっとゲーム」を中心に、効率の良いプロモーションの実施や利用促進に努めてまいりました。

一方で、「App Store」「Google Play」向けサービスについては、アプリの開発及び投入を行うとともに、各種アライアンスの強化を図ることで、コンテンツプラットフォーム化を推進した他、ヒットコンテンツ創出へ向け、初のVRゲームリリース等に取り組んでまいりました。

以上の結果、コンテンツサービス事業の売上高は9億44百万円、セグメント利益は3億81百万円となりました。

## &lt;ソリューション事業&gt;

ソリューション事業におきましては、システムの企画、構築、運用、デバッグ、サーバ保守管理等の法人向け受託開発については、IT投資の活性化を背景に受託案件の獲得を拡大させてきた他、法人向け業務支援についても、各種サービスの提供に努めてまいりました。

また、取引の安全性を保証する仲介サービス（エスクロー、注3）については、フリマアプリ『Dealing』において、多種多様な決済に対応することで利便性の向上に努めてきた他、エスクローのビジネスモデルを活用した新サービスの企画開発を進めてまいりました。

一方、広告代理サービス「店頭アフィリエイト」については、取扱商材の拡充と販路開拓の推進に注力してきました。また、広告アプリについては、女性向けヘルスケアアプリ『女性のリズム手帳』において、エキサイト株式会社との共同運営を推進させてまいりました。

海外では、中国（上海）の携帯電話販売店（チャイナテレコムショップ）での法人向け販売強化に努めてまいりました。

以上の結果、ソリューション事業の売上高は15億49百万円、セグメント利益は53百万円となりました。

なお、東京魚市場卸協同組合初の電子商取引サービス『いなせり』の企画・開発・運営を独占的に行うべく、平成28年6月に子会社「いなせり株式会社」を設立、同組合と業務提携し、平成28年12月のサービス開始に向けて準備を進めてまいりました。

（注3）物品などを売買する際に取引の安全性を保証する仲介サービスで、売買の当事者以外の第三者（エスクローエージェント）が決済を仲介して、代金を一時的に預かるしくみ。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1億29百万円増加し、61億46百万円となりました。流動資産は、主に現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の増加並びに仕掛品の減少により前連結会計年度末と比較して31百万円増加し、47億4千万円となりました。固定資産においては、主に機械及び装置の増加、投資有価証券の増加及び長期預金の減少により前連結会計年度末と比較して98百万円増加し、14億42百万円となりました。

負債につきましては、主に長期借入金の増加、未払法人税等の減少及び買掛金の減少により前連結会計年度末と比較して、1億57百万円増加し、9億57百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上がありました。剰余金の配当及び為替換算調整勘定の減少により前連結会計年度末と比較して27百万円減少し、51億89百万円となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して6億57百万円減少し、25億96百万円となりました。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は1億52百万円（前年同期は1億59百万円の資金の減少）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益1億40百万円、減価償却費1億16百万円、たな卸資産の増加額31百万円及び法人税等の支払額1億56百万円によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は6億85百万円（前年同期は1億60百万円の資金の減少）となりました。これは主に定期預金の預入による支出4億16百万円、無形固定資産の取得による支出1億41百万円及び子会社株式取得による支出1億50百万円によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は1億44百万円（前年同期は1億30百万円の資金の減少）となりました。これは主に配当金の支払額1億20百万円及び非支配株主への配当金の支払額9百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月期の連結業績予想につきましては、平成28年7月12日公表の連結業績予想値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、重要性が増した株式会社プロモート及び山口再エネ・ファクトリー株式会社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,736,869	3,782,350
受取手形及び売掛金	644,123	677,891
商品	10,664	6,701
仕掛品	101,744	76,369
貯蔵品	962	538
繰延税金資産	33,325	27,669
未収入金	92,089	79,352
その他	89,813	90,710
貸倒引当金	△36,869	△37,274
流動資産合計	4,672,724	4,704,309
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	41,716	36,320
機械及び装置(純額)	—	357,266
土地	12,400	12,400
その他(純額)	25,171	25,148
有形固定資産合計	79,287	431,135
無形固定資産		
のれん	19,136	3,262
ソフトウェア	449,531	482,214
その他	12	7,908
無形固定資産合計	468,680	493,384
投資その他の資産		
投資有価証券	372,551	396,009
長期預金	300,000	—
差入保証金	95,325	89,717
長期貸付金	915	369
繰延税金資産	17,233	18,848
長期債権	9,390	8,175
その他	10,441	13,196
貸倒引当金	△9,390	△8,175
投資その他の資産合計	796,467	518,141
固定資産合計	1,344,436	1,442,661
資産合計	6,017,160	6,146,970

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	300,216	239,756
1年内返済予定の長期借入金	—	21,996
未払法人税等	150,691	59,178
未払消費税等	22,872	38,997
役員賞与引当金	—	1,218
その他	261,970	241,200
流動負債合計	735,751	602,346
固定負債		
長期借入金	—	297,006
繰延税金負債	18,727	1,496
退職給付に係る負債	38,252	41,940
その他	7,370	14,958
固定負債合計	64,350	355,401
負債合計	800,101	957,748
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,104,360	1,104,717
資本剰余金	982,311	982,669
利益剰余金	2,851,486	2,798,582
株主資本合計	4,938,158	4,885,969
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,120	38,344
為替換算調整勘定	42,057	18,563
その他の包括利益累計額合計	89,178	56,907
新株予約権	2,052	2,686
非支配株主持分	187,668	243,659
純資産合計	5,217,058	5,189,222
負債純資産合計	6,017,160	6,146,970



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)
売上高	2,547,082	2,494,736
売上原価	1,384,495	1,473,451
売上総利益	1,162,587	1,021,284
販売費及び一般管理費	1,118,645	854,429
営業利益	43,941	166,854
営業外収益		
受取利息	1,318	547
受取配当金	1,558	1,421
補助金収入	—	4,000
受取負担金	—	5,006
受取賃貸料	666	666
業務受託手数料	1,800	6,200
受取補償金	2,000	—
為替差益	—	47
その他	1,955	2,458
営業外収益合計	9,298	20,347
営業外費用		
支払利息	80	1,864
為替差損	27	—
支払手数料	176	176
その他	106	129
営業外費用合計	391	2,170
経常利益	52,848	185,032
特別利益		
投資有価証券売却益	17,933	—
関係会社出資金売却益	17,647	—
償却債権取立益	—	19,615
特別利益合計	35,581	19,615
特別損失		
固定資産除却損	867	21,204
減損損失	13,867	—
関係会社株式評価損	—	42,891
特別損失合計	14,734	64,095
税金等調整前四半期純利益	73,694	140,552
法人税、住民税及び事業税	24,659	57,768
法人税等調整額	△25,069	△9,317
法人税等合計	△410	48,451
四半期純利益	74,104	92,100
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,551	21,173
親会社株主に帰属する四半期純利益	69,553	70,927

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年6月1日 至 平成27年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成28年11月30日)
四半期純利益	74,104	92,100
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△73,524	△8,776
為替換算調整勘定	△16,371	△23,494
その他の包括利益合計	△89,895	△32,271
四半期包括利益	△15,790	59,829
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△20,342	38,656
非支配株主に係る四半期包括利益	4,551	21,173

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	73,694	140,552
減価償却費	88,388	116,183
固定資産除却損	867	21,204
減損損失	13,867	—
関係会社株式評価損	—	42,891
のれん償却額	15,983	16,038
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△454	394
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,927	△581
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3,134	3,688
受取利息及び受取配当金	△2,876	△1,969
支払利息	80	1,864
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△17,933	—
関係会社出資金売却益 (△は益)	△17,647	—
為替差損益 (△は益)	27	△47
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,813	△40,093
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△135,563	31,921
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	36,426
仕入債務の増減額 (△は減少)	49,385	△59,511
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△56,094	15,431
その他	△20,999	△15,983
小計	△9,880	308,410
利息及び配当金の受取額	3,074	2,174
利息の支払額	△80	△1,849
法人税等の支払額	△153,081	△156,646
営業活動によるキャッシュ・フロー	△159,968	152,089
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△33,321	△416,375
定期預金の払戻による収入	253,321	9,562
長期預金の預入による支出	△200,000	—
長期預金の払戻による収入	14,490	—
有形固定資産の取得による支出	△15,012	△11,692
無形固定資産の取得による支出	△149,560	△141,469
無形固定資産の売却による収入	—	2,358
子会社株式の取得による支出	△96,500	△150,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△1,778	—
投資有価証券の売却による収入	71,850	16,767
貸付金の回収による収入	321	829
敷金及び保証金の差入による支出	△4,809	—
敷金及び保証金の回収による収入	564	4,467
その他	170	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△160,263	△685,551

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年6月1日 至 平成27年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成28年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	300,000	200,000
短期借入金の返済による支出	△300,000	△200,000
長期借入金の返済による支出	△2,004	△10,998
リース債務の返済による支出	△708	—
株式の発行による収入	2,538	594
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△5,130
非支配株主からの払込みによる収入	—	1,022
配当金の支払額	△120,787	△120,956
非支配株主への配当金の支払額	△9,426	△9,289
財務活動によるキャッシュ・フロー	△130,388	△144,757
現金及び現金同等物に係る換算差額	△539	△2,981
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△451,159	△681,201
現金及び現金同等物の期首残高	3,557,933	3,253,828
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	111,217	23,984
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,217,990	2,596,612

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成27年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	コンテンツ サービス事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,148,022	1,399,059	2,547,082	—	2,547,082
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	51,288	51,288	△51,288	—
計	1,148,022	1,450,348	2,598,371	△51,288	2,547,082
セグメント利益	282,596	41,912	324,508	△280,567	43,941

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△280,567千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成28年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	コンテンツ サービス事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	944,957	1,549,779	2,494,736	—	2,494,736
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	25,752	25,752	△25,752	—
計	944,957	1,575,532	2,520,489	△25,752	2,494,736
セグメント利益	381,654	53,743	435,398	△268,543	166,854

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△268,543千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。